

# 平成 23 年度「JA 魚沼みなみ米・GAP」

GAPのチェックは栽培記録カードのGAPチェック欄にチェックしてください。

※農作業が終わったら、忘れないうちに、出来たは「○」、出来ないは「×」、該当なしは「-」を、栽培記録カードのGAPチェック欄に記入してください。

		チェック項目
農作業の工程管理 (GAP) チェックシート	毎回の提出時に確認	1 「JA米の4つの要件」を知っていますか。
		2 栽培記録カードをもれなく確実に記帳し、提出しましたか。また、控えは保管しましたか。
		3 播種日・田植日・出穂日・収穫日を記帳しましたか。
		4 使用した全ての肥料名・土壌改良資材・使用日・使用量を記帳しましたか。
		5 使用した農薬は登録農薬でしたか。
		6 農薬はラベルに記載されている使用方法・使用量等を守って使用しましたか。
		7 使用した全ての農薬名・使用日・使用量を記帳しましたか。
		8 生産履歴は全出荷米について記帳しJAに提出しましたか。
	準備	9 肥料は、栽培マニュアルによる施肥基準に基づいて施用しましたか。
		10 研修会の参加やパンフレットなどにより、栽培の情報を集めましたか。
		11 圃場や作業所内で危険な場所や作業を認識しましたか。
		12 たい肥、稲わらなど有機物の施用による土づくりをしましたか。
	播種・育苗・田植え時 （複数品種の栽培を行う場合）	13 種子更新を行い、種子・苗の購入伝票等を保管しましたか。
		14 種子消毒は決まった薬剤、使用回数・使用量を守って行いましたか。
		15 播種作業前や品種切替時に、播種機を清掃しましたか。
		16 品種切替時に、使用していた床土や覆土等に粉が残留していないことを確認しましたか。
		17 移植作業前や品種切替時に、田植え機を清掃しましたか。
		18 前年に他品種を植えた圃場は条間の苗を抜き取りましたか。
		19 種子・苗は、品種の確認をして、品種名が区別できるようにしましたか。
		20 田植えの際、他品種の苗が混ざらないようにしましたか。
		21 1圃場につき1品種を移植しましたか。また、補植苗も同一品種の苗を使用しましたか。
		22 防除は、米づくり情報や病害虫発生予察情報を活用しましたか。
	肥料農薬に関する確認	23 代かき後の濁水や農薬・肥料施用直後の水田の水を流出させませんでしたか。
		24 農薬飛散防止ノズル使用や強風時に散布しないなど、飛散防止対策をしましたか。
		25 肥料・農薬等は整理整頓して保管し、また、廃棄は適正に処理をしましたか。
26 肥料や農薬の使用状況など栽培履歴の記帳を行い、購入伝票とともに保管しましたか。		
圃場管理	27 溝さり・中干しをしっかりと行い、生育調整をしましたか。	
	28 後期栄養を重視し、適正に穂肥を施用しましたか。	
	29 出穂前3週間から出穂後25日までは、飽水管理をしましたか。	
	30 クサネム・雑草等は、除去をしましたか。	
	31 草刈等のときは、安全な服装をして作業をしましたか。	
	32 農道や畦畔の雑草・ゴミ等を除去しましたか。	
収穫	33 コンバインなどの清掃を行い、収穫の際に他品種が混じらないよう注意しましたか。	
	34 積算温度を確認して、適期収穫を行いましたか。	
	35 倒伏や病害虫による被害籾、高水分籾を仕分けして収穫しましたか。	
乾燥・調整	36 乾燥調整作業前に、各設備の整備・点検、故障箇所の修理を行いましたか。	
	37 乾燥・調整作業前や品種切替時に、各設備の清掃を行いましたか。	
	38 倒伏や病害虫による被害籾、高水分籾は仕分けして乾燥、調整しましたか。	
	39 乾燥機への張込ミスはありませんでしたか。	
	40 過乾燥を防止し、玄米水分は15%～14%以内に仕上げましたか。	
	41 籾摺・調整初期の玄米は別管理し、出荷を回避しましたか。	
出荷前	42 出荷する米穀に他の品種の籾・玄米が混ざりませんでしたか。	
	43 検査依頼書に記載した品種と現物を確認しましたか。	
全般	44 育苗・栽培・収穫・乾燥・調整を通じて他の品種の混入は防げましたか。	
	45 稲わらをたい肥や飼料として利用したり、鋤き込んだりして、野焼きせず適正な処理をしましたか。	